

- [新しいショートカットコンポーネント](#)
- [コードエディタ](#)
- [埋め込みコンポーネントによるプログラミングの改善](#)
- [テキストエリアコンポーネント](#)
- [数式コンポーネント](#)
- [トグルボタンコンポーネント](#)
- [ビデオプレーヤーコンポーネント](#)
- [コンポーネントの枠表示設定](#)

埋め込みコンポーネントは、Maple の対話型ドキュメントの主要な構成要素です。Maple 18 では、多くのコアコンポーネントには、枠の表示やテキストに合わせるサイズの自動調整などのオプションが新しく追加され、改良されています。新しいパスワードオプションによって、テキストエリアをパスワード入力フィールドにすることもできます。

これらの更新に加え、[Explore](#) コマンドの大規模な更新や、[採点できる](#) アプリを作成する新しいルーチンやツールの追加など、対話型ドキュメントや Math Apps の作成をより簡単に作成できるいくつかの改良がありました。さらに、コードエディタで対応する言語と、ビデオコンポーネントで対応する音声ファイルフォーマットが追加されました。

新しいショートカットコンポーネント

新しく追加されたショートカットコンポーネントによって、MapleCloud 上のドキュメントなどの新しいタイプのコンテンツにリンクすることができます。このコンポーネントに、キャプションや画像の表示を設定できます。また、埋め込みコンポーネントであるため、[DocumentTools](#) を使用してショートカットコンポーネントにアクセスしたり、そのプロパティを変更したりすることができます。

詳細は [ShortcutComponent](#) を参照してください。

コードエディタ

以下は、コードエディタの新しいオプションです。

- 行番号の表示オプション。
- テキストの自動折り返しオプション。
- **値**のプロパティを使用して、コードエディタの内容をプログラムで取得または設定できます。
- Modelica コードの編集：MapleSim がインストールされている場合、コード言語を「Maple」または「Modelica」から選択できます。「Modelica」に設定すると、Maple は自動的にキーワードのハイライトやコードのレイアウトを Modelica の規則に適応させます。

詳細は [CodeEditRegion](#) を参照してください。

埋め込みコンポーネントによるプログラミングしやすさの改善

対話型のドキュメントや Math App をプログラミングするときに、コンポーネントを名前参照することがよくあります。今までは、名前を知らない場合や覚えていない場合は、コンポーネントのプロパティを確認する必要がありました。Maple 18 には、コンポーネント名をより簡単にコードに挿入する方法があります。

- コマンド補完機能を使用します。コードエディタに % を入力し、コマンド補完を実行してください。Maple によってドキュメント内のすべてのコンポーネント名がリストで表示され、ここから必要なコンポーネントを選択できます。
- コンポーネントをコピーし、コードエディタに貼り付けます。Maple はコンポーネントそのものの代わりにコンポーネント名を挿入します。

これらの新しい機能はすべてのコードエディタ環境 (コンポーネントプロパティ、コードエディタ、およびスタートアップコードエディタ) で使用できます。詳細は [CodeEditRegion](#) を参照してください。

テキストエリアコンポーネント

テキストエリアコンポーネントの改善点は以下のとおりです。

- 新しい **パスワード** オプションによって、テキストエリアに入力した内容を非表示にすることができます。このオプションを設定すると、テキストエリアに入力した内容が、パスワード入力時と同様、すべて黒丸として表示されます。実際に入力した内容には Maple がアクセスできるため、入力内容を要求すると、ユーザが実際に入力した内容が文字列として Maple から返されます。
- Maple 18 では、単一行のテキストエリア (デフォルト) 内では、[Enter] キーを押すことによって、コンポーネントが変化したときの動作コードが実行されます。

詳細は、[TextAreaComponent](#) を参照してください。

数式コンポーネント

数式コンポーネントのサイズを入力した内容に合わせて調整する、新しいコンテナサイズの自動調整 オプションがあります。詳細は [MathExpressionComponent](#) を参照してください。

数式コンポーネントから簡単化される前のコンテンツを取得するには、[InertForm\[FromMathContainer\]](#) を使用します。詳細と例は、[正確な数学表記の取得、操作、および表示](#) を参照してください。

トグルボタンコンポーネント

トグルボタンコンポーネントで使われている 2 つの画像を、プログラムでカスタマイズできるようになりました。詳細は、[ToggleButtonComponent](#) を参照してください。

ビデオプレーヤーコンポーネント

ビデオプレーヤーコンポーネントで、音声ファイルを再生できるようになりました。OGG フォーマットの音声ファイルをサポートしています。詳細は、[VideoComponent](#) を参照してください。

▼ コンポーネントの枠表示設定

新しいオプションによって、数式コンポーネント、テキストエリアコンポーネント、またはプロットコンポーネントの枠を非表示にすることができます。詳細は、[MathExpressionComponent](#)、[TextAreaComponent](#)、および[PlotComponent](#) を参照してください。

▼ 参照

[CodeEditRegion](#)、[EmbeddedComponents](#)、[Maple 18 の新機能](#)、[採点用アプリケーションの作成](#)、[Maple 18 の Explore コマンドの更新](#)

▶ Pages That Link to This Page